

令和2年度第3回八千代市生涯学習審議会 会議録

会議名	令和2年度第3回八千代市生涯学習審議会
開催日時	令和3年3月3日(水) 午前9時55分～11時30分
開催会場	八千代市教育委員会庁舎 1階 第1・第2会議室
議題	(1) 第3期八千代市生涯学習推進計画(原案)について(諮問) ① 第3期八千代市生涯学習推進計画(素案)に対する審議会委員からの質問と回答(市の考え方)について ② 第3期八千代市生涯学習推進計画(素案)に対するパブリックコメントの結果について ③ 第3期八千代市生涯学習推進計画(素案)に対する八千代市生涯学習推進本部幹事会からの意見について ④ 第3期八千代市生涯学習推進計画(原案)について (2) 答申案について

出席者名

出席委員	小出 正雄 会長(関係団体の代表者)
	佐藤 知行 委員(市民)
	田村 俊毅 委員(市民)
	椎名 美代子 委員(市民)
	小山田 育子 委員(関係団体の代表者)
	黒沢 昇 委員(関係団体の代表者)
事務局	大澤 利和 (教育次長)
	蕨 茂美 (教育委員会参事)
	斎藤 仁 (生涯学習振興課主幹)
	春田 泰宏 (文化・スポーツ課長)
	松本 亮二 (生涯学習振興課副主幹)
	塩谷 純 (生涯学習振興課主査補)

公開又は非公開の別 公開

傍聴人定員及び傍聴人数 定員4人/傍聴人0人

所管課名 教育委員会生涯学習振興課

電話番号 047(481)0309

**【事務局（生涯学習振興課 塩谷主査補）】**

皆様おはようございます。定刻よりも少し時間が早いです。皆様おそろいのようなので、ただいまから令和3年度第3回八千代生涯学習審議会を開会いたします。本日はお忙しい中ご出席をいただきましてありがとうございます。

司会を務めさせていただきます生涯学習振興課の塩谷と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

初めに、資料の確認をさせていただきます。お手元にお配りしております順に申し上げますので、ご確認ください。

まず「次第」、次に「席次表」、続いて「八千代市生涯学習審議会委員及び事務局職員名簿」、「八千代市生涯学習審議会条例」、「八千代市生涯学習審議会条例施行規則」、「資料1：第3期八千代市生涯学習推進計画原案について（諮問）」、「資料2：議題（1）①第3期八千代市生涯学習推進計画（素案）に対する生涯学習審議会委員からの質問と市の回答」、「資料3：第3期八千代市生涯学習推進計画（素案）に対するパブリックコメントの結果について」、「資料4：第3期八千代市生涯学習推進計画（素案）に対する生涯学習推進本部幹事会からの意見」、「資料5：第3期八千代市生涯学習推進計画（原案）」、そして「資料6：第3期八千代市生涯学習推進計画策定までのスケジュール」。

本日お配りしている資料は以上になりますが、委員の皆様方に事前に郵送させていただき、ご持参お願いしました資料といたしまして、「第3期八千代市生涯学習推進計画（素案）」、そしてもう一つ「第3期八千代市生涯学習推進計画（素案）概要版」。以上となりますが資料の不足がございましたらお申し出ください。資料の方はよろしいでしょうか。

それでは、本日の出席委員は6名です。八千代市生涯学習審議会条例第5条第2項の規定による定足数に達しておりますので、会議は成立いたしました。本会議は、「八千代市審議会等の会議の公開に関する要領」第4条の規定により、公開としております。また、会議録作成のため、会議の内容を録音させていただきますのでご了承をお願いいたします。

続いて皆様方のお手元にありますマイク的使用方法についてご説明をいたします。本会議中におけるマイクの使用につきましては、発言をされます前に必ずボタンを押してからご発言をいただき、発言が終わりましたら、再度ボタンを押してくださいますようお願いをいたします。

それでは次第に沿って進めさせていただきます。

次第2「委員紹介」になりますが、委員の皆様のご紹介につきましては、本日お配りしております名簿並びに席次表によりご紹介に代えさせていただきますので、ご了承ください。なお、岡副会長、金子委員及び馬場委員につきましては所用のため本日欠席となります。

それでは続いて次第3「議題」に入らせていただきますが、こちらは審議事項となりますので、八千代市生涯学習審議会条例第5条第1項の規定により、これ以降は議事進行を小出会長にお願いをいたします。

よろしくお願いいたします。

**【小出 正雄会長】**

会長の小出と申します。皆様にご協力をいただきながら議題を進行してまいりたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

議題「(1) 第3期八千代市生涯学習推進計画(原案)について(諮問)」になりますが、皆様に配布しております「資料1」のとおり、2月26日付けで市長から八千代市審議会条例第2条の規定に基づき、当審議会に対し諮問を受けております。

それでは、事務局に説明を求めます。

**【事務局(生涯学習振興課 松本副主幹)】**

生涯学習振興課の松本と申します。よろしくお願いたします。

私の方から、「議題(1) 第3期生涯学習推進計画(原案)について(諮問)」のご説明をいたします。

まずは皆様にお配りしております「資料1 第3期八千代市生涯学習推進計画原案について(諮問)」をご覧ください。こちら読み上げます。「第3期生涯学習推進計画を策定するに当たり、八千代市生涯学習審議会条例第2条の規定に基づき、別添「第3期八千代市生涯学習推進計画(原案)」について、貴審議会の意見を求めます」。

このことから、先日作成をいたしました「第3期八千代市生涯学習推進計画(素案)」についてこの後ご説明申し上げますが、審議会委員の皆様からのご意見、パブリックコメントによる意見及び八千代市生涯学習推進本部幹事会からの意見を踏まえ、素案を修正した原案を作成しましたので、その原案について審議会からの意見を求めるものでございます。

それでは、「議題(1) ①第3期八千代市生涯学習推進計画(素案)に対する審議会委員からの質問と回答(市の考え方)について」に移ります。資料2及びご持参いただきました「第3期八千代市生涯学習推進計画(素案)」をご覧ください。

はじめに、素案に対しまして委員の皆様より多くの貴重なご意見を賜りまして、誠にありがとうございました。

まずは、資料2の表の見方になりますが、「区分」と書かれた箇所のかっこ内に「素案のページ番号」、その右横が「質問をされた委員のお名前」、順に「質問等」、「回答(市の考え方)」、「素案の修正の有無」となっております。

それではNo.1の質問からご説明いたします。素案のページ番号といたしますと、2ページになります。ご質問は、椎名委員から賜っております。

4生涯学習を取り巻く状況(1)国の動向②人口減少時代の新しい地域づくりに向けた社会教育の在り方として、『社会教育』を基盤とした、人づくり・つながりづくり・地域づくりが示されたとあります。これは、平成30年12月の中央審議会の答申により示されたもので、前回の第2期生涯学習推進計画策定時には特に示されず、今回の策定に当たって、背景として特に注視すべきところと思います。この点を、第2章・第3章に組み込む項目として、皆さんと話し合えることを期待します。

こちらのご質問に対する市の回答になりますが、平成30年12月の中央審議会の答申に示された『「社会教育」を基盤とした、人づくり・つながりづくり・地域づくり』については、第3期生涯学習推進計画において、人づくりは「基本目標1 市民の学びの支援」で、つながりづくりは「基本目標2 学びを通じた交流と成果の還元」で、地域づくりは「基本目標2 学びを通じた交流と成果の還元」及び「基本目標4 地域社会と連携し、共に歩む教育支援」で組み込んでいると考えておりますが、人づくり・つながりづくり・地域づくりを好循環させる必要であること

から、第2章にイメージ図を追記しております。こちら、椎名委員から委員の皆様と話されることを期待しますというご意見が出ておりますが、まずはこの資料を一通りご説明させていただいた後に、皆様のご意見をお伺いしたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

続いてNo.2、素案は3ページになり、ご質問は佐藤委員から承っております。

生涯学習の推進において、本計画に「質の高い教育をみんなに」といったSDGsの視点を一早く取り入れたことは意義深い。しかし、普遍的な目標であるSDGsはグローバルレベルで示されており、そのままでは国や地域のレベルでの具体的な活動としては成立しない。少なくとも、国や地域の事情を踏まえた目標や指標などを設定してから、実際の活動として取り組んでいかなければなるまい。そこで、本市としては、SDGsの推進で核となる取組をどのように考え、また、その成果・進捗をどのような方法で評価し、いつ頃、どのような形で知らしめていかれるのかお伺いしたい。というご質問でございます。

こちらの回答でございますが、SDGsへの本市の取組につきましては、生涯学習推進計画の上位計画に当たる「八千代市第5次総合計画」において、SDGsと本市の施策を関連させるとともに、地方創生の推進につながることを目的として、「地方創生SDGs官民連携プラットフォーム」に加入したところであり、関連イベントへの参加などを通じて、推進方法の調査・研究を進めることとしておりますが、その具体的な、核となる取組については、行政内部はもとより市民や団体等の理解と協力が必要不可欠となりますことから、段階的に進めてまいりたいと考えているところであります。なお、SDGsにつきましては、本市における具体的な推進方針等が決定していないことから、素案ではSDGsの推進としておりましたが、原案ではSDGsへの取組に記載を修正いたしました。

続いてNo.3、素案は同じく3ページです。金子委員からのご意見になります。

SDGs世界共通の目標は大変素晴らしく、これから世界に必ず必要な目標だと思います。その目標に則って計画を推進していくという事は大切であると痛感しています。

こちらの回答になりますが、No.2と同様で本市ではSDGsへの取組は行政内部はもとより市民や団体等の理解と協力が必要不可欠となりますことから、段階的に進めてまいりたいと考えています。

続いて資料2ページをご覧ください。No.4、素案は同じく3ページになりますが岡委員からのご質問です。

教育現場の立場からSDGs（持続可能な開発目標）の推進が始まり、SDGsと計画策定の内容と時期がうまく重なるとより良いと感じた。令和10年までのものを2030年、令和12年までにするのはどうかというものになります。

こちらの回答になりますが、生涯学習推進計画の期間については、八千代市第5次総合計画と整合を図るため、第3期が令和3年度～令和6年度、第4期が令和7年度～令和10年度となります。ご意見ありましたSDGsの期限2030年（令和12年）との整合については、八千代市第6次総合計画及び第5期八千代市生涯学習推進計画を策定する際の検討事項となります。

次にNo.5、素案が、4ページになります。こちらは椎名委員からのご質問になります。

基本目標4地域社会と連携し、共に歩む教育への支援の教育とは、学校教育の事でしょうか。

こちらの回答になりますが、素案の38ページに記載しておりますが、地域学校協働活動のことを指しております。地域学校協働活動とは、幅広い地域住民の参画を得て、地域全体で未来を

担う子どもたちの学びや成長を支えるとともに、地域と学校が相互にパートナーとして連携協働して行う様々な活動であります。

次にNo.6、素案は同じく4ページ、金子委員からのご意見です。

コミュニケーションをとりながら学びを深めるだけにとどまらず、成果を活かす機会の場を持ち、共に生きるまち八千代としていく理念は素晴らしいと思います。

こちらの回答ですが、基本理念を実現するため、市・市民・団体等が連携・協働した体制となり、生涯学習の推進に取り組んでまいります。

続いてNo.7、素案が6ページになります。田村委員からのご質問になります。

これだけの取り組みをやっていくとしたら実行していく中で課題も出てくると思います。PDCAを回すという意味から審議会の中でその途中時点での各施策の計画と結果・成果を出して頂き共有化していけたらと思います。

こちらの回答になりますが、今後、PDCAサイクルに基づく具体的な取組項目の点検・評価を行うとともに、施策に応じた新たな取組項目の追加、目標値の再設定などを実施しますので、その情報については、生涯学習審議会においてご報告させていただき、委員の皆様の意見を踏まえ、毎年度版の計画書を作成してまいります。

続いてNo.8、素案は同じく6ページになります。椎名委員からのご質問です。

推進に当たってのPDCAサイクルのチェックはそれぞれの担当機関、施設で行うのですか。審議会でも行うのですか。

こちらの回答ですが、各推進部署で実施する「具体的な取組」のチェックは、推進部署及び生涯学習振興課で行った上で、審議会の議題とさせていただきます。その後、審議会の結果を踏まえ、毎年度版の計画書を作成してまいります。

続いて、資料3ページをご覧ください。No.9のご質問、素案が7ページになります。椎名委員からのご質問になります。

【現状】の4行目にありますが、生涯学習、文化活動を持っている市民の割合が31%と低い状況とのことですが、近隣他市では、もっと高いのでしょうかというご質問です。

こちらの回答になりますが、近隣市における同様のアンケート結果は次のとおりであります。

船橋市：「現在、継続して何かを学んだり、活動している割合49.2%」（R元7月実施）

松戸市：「この1年くらいの間にどのような生涯学習活動をしましたか」何かしら活動をした回答した割合65.1%（R元9月～10月実施）

柏市：この1年間に生涯学習をしたことがある割合40.1%（R元11月実施）」

こちらの3市につきましては、八千代市よりも高い数値となっております。その他の自治体もインターネット等により調査しましたが、アンケートの実施時期が古かったことにより、ここ最近で実施されたアンケートの結果を回答とさせていただきます。

続いてNo.10、第2章全体を通してということで、岡委員からご質問になります。

SDGs持続可能な開発目標の推進について触れた方がよいのではないか。というご質問です。回答といたしましては、No.2の質問と同様になりますが、本市の具体的なSDGsへの取組は、段階的に進めることとしておりますので、第2章では未掲載となります。

続いてNo.11、素案は8ページ目になります。金子委員からの質問です。

下段に家庭教育の支援の充実とありますが、子育てや、しつけなど、学校では学ぶ事が出来な

い事なので、それらを学ぶ機会を提供し、連携・連帯がもてるという取り組みは大いに意義があり、有効で大切なものだと思います。

こちらの回答ですが、引き続き、家庭教育講演会等の更なる周知及び事業拡大を図ってまいります。

次にNo.12、素案は9ページと35ページになりまして、田村委員からのご質問です。

35ページ目は再掲となっておりますので9ページ目に載っているものの部分になりますが、1-1-④のオンラインによる情報提供の充実については新たな施策ですが、今、国を挙げIT化・オンライン化が進められている現在、これからの生涯学習の大きな柱にしなくてはならないと思いますがいかがでしょうか。また具体的にはどのような講座を配信しようと考えておられるのでしょうか。より魅力あるものにするため八千代市独自に行うものだけではなく外部とのコラボ、また、市民の意向に沿う講座の紹介（ネット発信のもの）なども幅広く考えても良いのではないのでしょうか。今後進めていくとしたら、市民、特にシニア層の受講体制は大丈夫でしょうか。状況によってはパソコンなどの取り扱い初心者講座も必要ではないのでしょうか。というご質問でございます。

こちらの回答になりますが、これからの生涯学習の推進を図る上で、オンラインの活用は必要不可欠であると考えており、また、オンラインを中心とした学びの場の提供を充実させる必要があると認識しています。令和3年度から具体的に実施するオンライン講座については、市民ニーズの高い講座であります歴史講座や健康講座、俳句講座などを予定しており、まずは、生涯学習関係部局から取り組み、その後、他部局や関係機関へ広げることを考えています。なお、実施する講座については、計画に追記をいたします。市民へのオンライン講座に関する受講方法等を含む周知は、市HPや各生涯学習施設HP・窓口等において実施するとともに必要に応じてパソコン講座なども開きたいと考えております。

続いて資料4ページをご覧ください。No.13の質問、素案は9ページと35ページになりますが、椎名委員からのご質問です。

具体的な取り組みにオンラインによる情報提供の充実とあり、いつでもどこでも学べる環境整備として、オンラインによる講座の配信とあります。コロナ禍の終息の見通しが確かでない今は異論はありませんが、行政の社会教育の目的は人とのつながり・地域づくりにあるので、今後の計画としては、目標値は控えめでも良いかと思えます。

こちらの回答でございますが、オンラインによる情報提供は、いつでもどこでも好きなときに学ぶことができる、昨今の新しい生活様式に対応した取り組みであり、課題となっている若い世代の参加にもつながることが期待されるため推進を図っていきたいと考えていますが、生涯学習施設は人づくり・つながりづくり・地域づくりを担う施設でもあることから、そのことについて十分に留意し取り組んでまいります。

次にNo.14、素案は14ページになります。こちらは金子委員からのご質問です。

郷土博物館主催事業の講座・講演会につきましては、まず知ることから地元への愛情・愛着が醸成されていくものと思いますので、大切な行事として、周知して頂いた上で行って頂きたいと思えます。

こちらの回答ですが、様々な手段、広報やちよ・市HP・まなびネットやちよ・やちよ情報メール・生涯学習施設でのパンフレット配付等により、周知を図ってまいります。

次にNo.15, 素案は16ページになり, 田村委員からのご質問です。

1-1-⑩ふれあい大学の充実について更なる充実を目指すとありますが, 仲間作りと言うだけではなく地域のリーダーを育成するいわゆる市民カレッジという視点も強化し, 基本目標2に述べる学びを通じた交流と成果の還元につなげていきたいかがでしょうか。というご質問でございます。

こちらの回答ですが, 推進部署である長寿支援課とも連携し, ふれあい大学の参加者が地域活動に参画できるような講義を展開してまいりたいと考えております。

次にNo.16, 素案が18, 19, 21ページになります。こちらは金子委員からのご質問になります。

AED扱いの講習会また, マラソン大会の支援など, 市民の命と健康の事にも取り組んでいく事も大切な事と思います。

こちらの回答ですが, 第2期生涯学習推進計画に引き続き, 市民の命と健康に関することについて取り組んでまいります。

それでは資料5ページをご覧ください。No.17のご質問です。素案が20ページと23ページになります。椎名委員からのご質問でございます。

現状として“生涯学習に関するアンケートでは, 生涯学習活動で身につけた知識や技能の活かし方として「地域活動やボランティア活動」と回答したのが約20%と, 地域への還元が低い傾向」とあります。そして, 課題として, “習得した知識等を, 広く生かす機会の場を提供することが重要”とありますが, 特に新しい仕組みづくりの具体的な取り組みはみられません。ふれあい教室の充実など, 現状でも良くされていると思いますが, “若い世代に伝える”ことと共に, 平均寿命がのびて, 超高齢社会となった背景を意識した, 社会教育の中での, 人づくり・つながりづくり・地域づくりの視点を新しい取り組みに加えてはどうでしょうか。まずは, 行政サイドの認識を共有し, それぞれの現場の生涯学習グループ(活動者)に, たとえば「その活動を地域づくりにつなげるには?」のような意識改革に取り組んではどうでしょうか。地域づくりに繋がらない, 本人の教養, 趣味, 自己満足だけの学習であれば, 市民の税金で運営されている施設ですから施設利用料を徴収しなければなりません。というご質問です。

市の回答としては, ご意見のとおり「基本方針3団体活動の支援と学習成果の地域還元の促進」において, 新たな具体的な取組はありませんので, いただいたご意見を踏まえ, 今後, 毎年実施するローリングにて, 新たな取組項目の追加について検討してまいりたいと考えます。

続いてNo.18, 素案は29ページになります。椎名委員からのご質問です。

ボランティアバンクの方たちはみなさんが活躍できているのでしょうか。

こちらの回答ですが, 生涯学習ボランティアバンク制度及び公民館ボランティア講師制度の活用状況が低いことについて課題であると認識しております。今後の具体的な取組としては, 教えた人と学びたい人とのマッチングを確実に実施(主催講座のアンケート結果, 図書資料の貸出状況等を整理・分析等)することにより, ボランティア登録者の活躍につなげてまいりたいと考えております。

資料6ページをご覧ください。No.19の質問です。素案は32ページ目になります。椎名委員からのご質問でございます。

生涯学習関係施設の整備・改善の具体的な取り組みの概要に第2期では利用区分の見直しとな

っていたのが第3期では機能や役割について見直しを行う。とありますが、現在は、利用区分、機能、役割がどのようになっているのでしょうか。というご質問でございます。

回答といたしますと、利用区分につきましては、市内・市外・団体・個人利用区分があります。機能といたしますと、市民の生涯学習推進の拠点施設であること。役割といたしますと、生涯にわたって、豊かな人生を送るため、市民が主体的に教養などの向上を図るとともに、地域課題を解決するために必要な学習を行い、自ら学んだ成果を地域で還元できる、市民の成長を支える施設であること。となります。なお、公民館におきましては施設利用の有料化について公共施設等総合管理計画アクションプランに位置付け、平成28年から検討して参りましたが、令和元年度に当面実施しない方針を決定したことから、第3期生涯学習推進計画では利用区分を除いているというところでございます。

続いてNo.20、素案は34ページ目になります。こちらは田村委員からのご質問になります。

3-6-②「生涯学習情報提供システムの充実」の「まなびネットやちよ」についてですが、市民意識調査で80%の市民が生涯学習情報を得られにくいと感じていることは大きな課題だと思えます。生涯学習を魅力ある内容にしていくと同時に市民がその良さを理解して多くの人に参加してもらうことが大切です。八千代市の生涯学習は充実しており、もっとHP、広報誌などで周知・PRをして市民に知って参加してもらう必要があると考えます。素案は充実していくと言うことですが具体的にはどうするのでしょうか。市民の経験から言えば、一つは、今、学習を開始するものが順次周知されているというイメージですが、例えば全体の実行計画（四半期毎、半年毎など）を周知して（市民は全体を見せることで興味ある取り組みが分かり参加に繋がる、また予定もたてやすい）その中から実施するものを順次早めに周知し募集していくという方法はいかがでしょうか。二つは周知・PRについて、生涯学習を検索した際、八千代市公式HPからではなかなか「まなびネットやちよ」に届きません。例えば八千代市HPの先頭画面に項目を作りリンクさせ簡単にアクセスできるというのはいかがでしょうか。」というご質問でございます。

こちらの回答になりますが、市民意識調査における「生涯学習情報が得られやすいと感じている市民の割合」が低い水準であることについて大きな課題と認識しております。課題を解決するには、生涯学習情報提供システム「まなびネットやちよ」の更なる情報の充実と効果的な周知・啓発が必要であると考えています。具体的には、情報の充実として、WEBサイトの現状分析を行った上で、視覚的な効果も含めて改善を図り、今回いただきましたご意見であります、講座等の全体の実施計画についても一目で分かるような「(仮称) 学びカレンダー」を作成してまいりたいと考えています。効果的な周知・啓発としては、新たな手法として、広報やちよへの定期的（1～2カ月に1回程度）な掲載や生涯学習施設以外の公共施設へのリーフレット配布のほか、SNSを活用した情報発信を行うとともにご提案のありました市HPのトップページへのバナー掲載もしてまいりたいと考えております。

次にNo.21、素案は同じく35ページになります。椎名委員からのご質問でございます。

「まなびネットやちよ」のアクセスが減少したようですが、コロナ禍の令和2年度は止むを得ないと思えます。

こちらについての市の考え方になりますが、コロナ禍に伴うステイホームが推奨されているからこそ、生涯学習ニーズが高まっていると考えておりますので、生涯学習情報提供システム「まなびネットやちよ」の充実に取り組んでまいります。



続いて、資料7ページをご覧ください。No.22のご質問、素案は38ページになります。田村委員からのご質問でございます。

④ 4-7-①, ②について良い取り組みだと思いますが生涯学習との関係が分かりません。

こちらの回答になりますが、本市では平成31年4月に施行された組織機構改革により、生涯学習部が市長部局から教育委員会に移管したところではありますが、基本目標4で示した「地域社会と連携し、共に歩む教育への支援」は八千代市第5次総合計画においても生涯学習で取り組む施策として位置付けをしております。社会教育法で規定されている地域学校協働活動は、地域と学校が相互にパートナーとして連携協働して行う様々な活動です。その中でも学校だけではなく、地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支えることを目的に、防災学習や郷土学習など様々な学習を通して地域を創生するための活動となりますことから、今回新たな取り組みとして追加した項目となります。

次にNo.23、素案は同じく38ページ目、椎名委員からのご質問になります。

具体的取り組みに、学校運営協議会の設置・推進・支援とありますが、すでに3つの地域に地域社会、家庭、学校が連携・協働の活動が行われているとの事。学校運営協議会がないと活動が広がらないのでしょうか。自治会の回覧で回ってくる、小学校、中学校の新聞、そして本計画にもあるふれあい教室、子ども読書活動、親子で参加するイベント、博学連携の推進、放課後活動ほか、福祉協議会のイベントの中でも、以前と比べ良く協働できているように思います。あとは、災害時の連携協働かと思えます。また、新しい協議会が必要ですか。というご質問でございます。

こちらの回答になりますが、学校運営協議会については、「地方教育行政の組織及び運営についての法律」において、「教育委員会は、教育委員会規則で定めるところにより、その所管に属する学校ごとに、当該学校の運営及び当該運営への必要な支援に関して協議する機関として、学校運営協議会を置くように努めなければならない。」と定められておりますが、本市では学校運営協議会が設置されていないことから、設置に向け取り組むものであります。なお、3つの地域に地域学校協働本部と同様の組織はありますが、法律に基づく学校運営協議会は未設置であります。

続いて、資料の8ページをご覧ください。No.24のご質問です。こちらは第3章全体を通してのご質問ということで佐藤委員からでございます。

多様な学習ニーズに対応した取組を数多く行っている中で、障害のある方や介護の必要な方などの学習や交流支援についてはどのように捉えておられるのかお伺いしたい。というものでございます。

回答になりますが、国や県では、SDGsで掲げる「誰一人取り残さない社会の実現」を踏まえ、障害者の生涯学習推進に関する取り組みが行われており、本市においても障害のある方や介護の必要な方などへの生涯学習推進に取り組む必要があると認識をしています。本市では、第5次障害者計画において「障害のある人が生涯学習、スポーツ・文化活動などに積極的に参加できるよう、情報提供の充実や移動手段の確保など必要な条件整備を進めるとともに、地域や社会との接点となる交流機会や社会参加の場の拡充を図ります。」と定めており、生涯学習推進計画への位置付けについても、関係部署と連携しながら協議・検討を行い、今後は毎年実施するローリングにおいて、位置付けをしてまいりたいと考えています。

続いてNo.25です。こちら第3章全体を通してになりますが、岡委員からのご質問になります。

すべての取組にSDGs（持続可能な開発目標）17の目標との関連を標記する。というご質

間でございます。

こちらの回答になりますが、八千代市第5次総合計画との整合を図っているため、総合計画上での生涯学習施策におけるSDGsの開発目標は「質の高い教育をみんなに」「住み続けられるまちづくりを」「パートナーシップで目標を達成しよう」を標記しておりますが、今回は全ての「具体的な取組」にSDGsの開発目標を標記することはしませんが、今後、毎年実施するローリングにおいて検討してまいりたいと考えています。

次にNo.26になります。こちら第3章全体に関する内容になりますが、金子委員からのご質問になります。

地元の企業様にご協力頂き、市民への啓発・研修等を行って頂き、それを活かせる場、使える場を設けてみるという事も、地域という枠で考えてみた場合よいのではないかと考えます。

回答としては、本市では市内に事業所等を構えている民間企業との包括連携協定を締結しており、協定内容に生涯学習の推進に関する項目も含まれていますので、協定を活用した生涯学習の推進について検討してまいりたいと考えております。

続いて、資料9ページをご覧ください。こちらは全体を通してその他ご質問という形になりますが、佐藤委員からいただいております。

市民の学びの環境整備について、施設の使用を休止している少年自然の家の今後についてお伺いしたい。

こちらの回答でございますが、少年自然の家については、令和2年4月1日から休止しております。今後につきましては、公共施設再配置等推進委員会の方針をもとに決定することとなっておりますが、具体的な決定時期については現時点では未定となっております。

次にNo.28になります。椎名委員からのご質問でございます。

施設主催講座でも、申込者の多い講座もあるようですし、無料のカルチャーセンターにならなくてもいいと思います。

こちらの回答になりますが、市民サービスの一環として、主催講座等の参加費を無料としていることから、有料化について現時点では検討しておりません。

最後No.29は金子委員からのご質問でございます。

里山整備やオンライン講座など、これから発展、期待出来る内容もあり、進展を楽しみにして参ります。というご意見でございます。

こちらの回答でございますがNo.7・8と同様になりますが、PDCAサイクルに基づく点検・評価等を行いますので、進展状況については生涯学習審議会においてご報告をさせていただきます。

以上が資料2の一通りの説明になりますが、No.1で椎名委員からご質問がありました中央審議会の答申に示された『「社会教育」を基盤とした、人づくり・つながりづくり・地域づくり』について第2章及び第3章に取り組む項目として、先ほどの市の回答において、第2章にイメージ図を記載しておりますので、資料5の原案6ページをご覧くださいませでしょうか。

原案6ページ中下段に「社会教育を基盤とした人づくり・つながりづくり・地域づくり」として、社会教育を基盤とした人づくり・つながりづくり・地域づくりに向け、以下のイメージ通り、学びと活動の好循環を目指しますと記載しました。こちらは文部科学省の方でも学びの活動の好循環が必要だと謳っておりますので、そのことについて目で分かりやすくするためイメージ図を

追記したところがございます。他の委員の皆様において地域社会基盤とした人づくり・つながりづくり・地域づくりに関してご意見等ございますでしょうか。ご意見あれば挙手していただければと思います。

**【委員一同】**

(意見なし)

**【事務局（生涯学習振興課 松本副主幹）】**

なお、第3章においても、人づくりなのか、地域づくりなのか、つながりづくりなのかというものをSDGsの表みたいなものを記載することについて検討をしたのですが、全部を当てはめることが難しかったものでして、今回は記載しませんでした。このことについては今後ローリングで年度版の計画を作って参りますので、そこで記載できればということも考えております。

また、近隣市の生涯学習推進に関する計画を調べましたが、具体的に人づくり・つながりづくり・地域づくりについて明確に記載しているところが見当たりませんでした。ちなみに船橋市が本来は八千代市と同様に今年度に推進計画を作る予定だったのですが、新型コロナウイルス感染症の影響により1年延長になったため、船橋市の状況を確認できませんでしたが、当然他市の状況も踏まえて、今後は作って参りたいと考えております。

椎名委員、お伝えしたいことはございませんか。

**【椎名 美代子委員】**

いろいろ分からないところが分かってよかったです。結構です。ありがとうございます。

**【事務局（生涯学習振興課 松本副主幹）】**

No.2以降の市の考え方等について何かご意見等ございますでしょうか。

**【田村 俊毅委員】**

質問をしてご回答いただき、これでいいのではないかと思います。この中で一番大切なのは、八千代市はこれだけ沢山の分野にわたっていいことをやっているということ、市民の方があんまり知らないというのが一番大きな課題じゃないかと思います。80%ぐらいの人が分からない、実際にやっている人は30%ぐらいということになりますので、素案に書いてあるように生涯学習推進に関する情報の周知・PRをぜひともよろしくお願ひしたいと思ひます。

実は私も一つ経験したのですが、やりたいことを一生懸命探すために、八千代市のホームページで検索しましたけどなかなか行き着かなくて、最後は市の広報で見つけて、そこに応募しました。そうした検索のしやすさというところをもう少し強化してほしいです。もう一つ言えば、我々が市民の目から見れば、「まなびネット八千代」をあまり知らないです。皆さんは当たり前のことのように話されていますけれども、「まなびネット八千代」を開けばそこにいろいろ出てくるというのは、もちろんいろいろ周知されたと思いますが、よく知らないです。だからその80%という数字に繋がるのかもしれない。

それからもう一つ、「まなびネット八千代」を見てみても、実施するものが載っているだけです

よね。回答にも書いてありますが、全体的にどのようなものがあるのかというのが分かれば、それがこの時期から始まるよとか、そうした情報があれば非常に市民は理解しやすいし、スケジュールも取りやすいと思います。ここにこんなイベントがあったら受けてみようとか、そういうことに繋がると思います。

したがって、ただ周知するだけじゃなくて、いかに工夫をして周知していくかということが大事かなと感じましてこの質問をさせていただきました。

それからついでもう一つ、インターネット上での講座の開設についてですけども、資料に書いてありますようにこれからの利用手段の一つの大きな柱になるのではないかと思います。現に、中学生や高校生や大学生はもうほとんどインターネットを利用しています。先ほど申しましたように、八千代市はいろんなことをいっぱいやられているということで良いのですが、例えばこの資料に書いてありましたように、例えば近くの大学で無料のインターネット講座をいろいろやっていますよね。それから、都内の大学や企業でも歴史など幅広いジャンルでインターネット講座をやっています。それらを全部網羅することはなかなか難しいでしょうが、そうしたもののコラボというか、市民に紹介するというのも八千代市の生涯学習の幅を広げるにはいいのではないかなと、私個人としては思います。もちろん有料のやつもありますから、そういうものにはメリハリをつけながらいろいろやっていったら、さらによくなると思います。

せっかくいいものをやられているのですから、これをどんどん周知・PRして、市民の皆様にもっと参加してもらえればと思います。以上です。

#### 【事務局（蔵教育委員会参事）】

ただ今ご意見いただきましたけれども、私たちも周知についてこれで満足しているわけではございませんので、いろいろと考えて参りたいと思っております。また、オンライン講座についてですけれども、このコロナの影響で突然このように降って湧いてきたようなところもありますが、ただ今、この1年間でも手探りで公民館など様々な場所でいろいろ始めております。

なので、それを踏まえて今後も調査研究をして参りながら、もう少しバリエーションやノウハウ等を勉強して、もっともっと皆様のご期待に沿うようなものを考えていきたいと思っております。

貴重なご意見ありがとうございました。

#### 【事務局（生涯学習振興課 松本副主幹）】

それ以外にご質問等ございますか。

よろしいでしょうか。

それでは続いて議題（1）②～④についてまとめてご説明の方をさせていただきます、説明終了後に質疑の時間を設けたいと思います。

まずは「②第3期八千代市生涯学習推進計画（素案）に対するパブリックコメントの結果について」についてご説明いたします。

本日お配りしております資料3をご覧ください。

こちらは第3期生涯学習推進計画（素案）に対するパブリックコメントの結果についてまとめたものです。パブリックコメントの募集を令和3年1月15日から、2月15日までの1ヶ月間

実施をいたしました。意見の提出者及び件数は1人6件でありました。内容につきましては2枚目以降に資料としてお出しさせていただいております。パブリックコメントの意見に対しまして実際に修正を行ったものいたしますと、2番目のところの項目でございます。

「素案13ページの具体的な取組「伝統文化・伝承文化の継承促進」の指標について、文化伝承館主催事業参加者数目標値（R6年度末）が現況値より少なくなっているのは何故ですか。」というご質問がございました。こちらにつきまして担当部署は文化伝承館及び郷土博物館になりますが、確認した結果、目標値につきましては、当初、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、現況値より少なく設定していましたが、再度検討を行った結果、目標値を現況値より高い数値に修正したというところでございます。

その他5件ほど修正にはならないご質問がありましたが、個別具体的なご質問でしたので、会議の中では、説明を割愛させていただきます。

続いて「③第3期八千代市生涯学習推進計画（素案）に対する八千代市生涯学習推進本部幹事会からの意見について」説明いたします。

資料4「第3期八千代市生涯学習推進計画（素案）に対する生涯学習推進本部幹事会からの意見について」をご覧ください。生涯学習推進本部幹事会とは、生涯学習推進計画に関係する部署の課長で構成される組織体でございます。今回、こちらの幹事会から多くの意見をいただいております。資料としてお出ししているのが、その意見を踏まえて修正したものとなっております。

まずNo.1、素案は「はじめに」になります。「生涯学習とはなにか」また、「計画をどうして作るのか」が読み取れません。基本的なことを噛み砕いて記載いただけたらと思います。というご意見がありましたので、こちらを追記しております。

続いてNo.2、素案は3ページ、「(3)本市の取り組みについて」がありますが、「受ける上位計画、作成実施した計画が記載されていますが、「本市の取組」というタイトルでは違和感があります。実施してきた代表的な内容の記載はできないのでしょうか。」というご意見がございましたので、実施をしてきた代表的な内容について追記をいたしました。

続いてNo.3、素案は4ページ「基本理念」のところになりますが、「『八千代市第5次総合計画の将来のまちの姿を実現するための理念を定めます。』この書き方では総合計画の将来都市像との区別がしづらい。」というご意見ございましたので、総合計画の将来のまちの姿について、追記をいたしました。

続いてNo.4、素案の5ページになりますが、「基本方針」について「『基本理念及び基本目標を達成するため、以下の基本方針に基づいて生涯学習の推進を図ります』となっているが、この理念は達成するものなのか」というご意見をいただいたので、そちらを修正しています。

次にNo.5、素案の6ページになりますが、「評価の検証、改善を行うのであれば、計画期間中であっても必要に応じ見直し、改定を行うなどの文言はいれても良いかと考えます。余白にPDCAサイクルの絵と説明を併せて入れても良いかなと思います。」というご意見いただきました。そちらの修正を行っております。

次にNo.6、素案は7ページになりますが、「現状、市民意識調査では「生涯学習・文化活動をとっている」の記載がありますが、「学習時間をとっている」等の追加をされた方が良いと思われま

す。」とのことでありましたので、追記をいたしました。

次にNo.7、素案は8ページから39ページになりますが、「具体的な取組の名称、具体的な取組

の概要の記載では、イメージできない取組が多く存在します。具体的な事業例を記載することは難しいでしょうか。」というご意見がありましたので、具体的な事例等を追記いたしました。

次にNo.8, 素案は8ページから39ページになりますが、「素案の29ページのように、推進部署が「生涯学習振興課（総合生涯学習プラザ）」関係部署が「生涯学習振興課」のような記載があります。組織上、正しい記載と思いますが、意味が分からない方もいらっしゃると思います。八千代市のホームページのように、「総合生涯学習プラザ」「図書館」と記載した方が、なじむのではないのでしょうか。」というご意見がありましたので、ホームページと同様に市民になじみのある記載に変更をいたしました。

次にNo.9, 素案は同じく8ページから39ページになりますが、現況値に対して目標値が減少しているものがあるが、減少させることが目標であるように見えます。必要に応じて注記など追加する必要があるのではないかと。というご意見でしたので、こちらも注記を追加するなど修正いたしました。

続いて資料の2ページをご覧ください。No.10, 素案は13ページになりますが、「下段の「伝統文化・伝承文化の継承促進」整理番号1-1-⑫の指標で文化伝承館主催事業参加者数において目標値が現況値を大きく下回っていますが、計画として現況を下回る目標を掲げる必要があるか、削除するか掲載するなら、注記で理由を述べるかした方がいいと思います。」というご意見でしたので、推進部署に確認を行い目標値の修正をしました。

次にNo.11, 素案は14ページになりますが「下段の「博学連携の推進」について整理番号1-1-⑭の指標で学校の延べ利用団体数において、令和4年開校予定の阿蘇統合校の減少分はそのままではよいか？具体的に標記できないなら、「すべての小中学校」とかの表記では。」というご意見でしたので、阿蘇統合校が開校する予定を踏まえた学校、若しくは全ての学校などの表記に変更します。

No.12, 素案は16ページになりますが、「1-1-⑱「高齢者の健康づくりの推進」において、要介護状態の原因として、従来からの『ロコモティブ症候群（運動器の障害による移動機能の低下）』のほかに、最近では『フレイル（加齢による心身の虚弱）』という言葉がよく出てきていますので、取り組みの中に、この言葉も記載したらいかがでしょうか。」というご意見でしたので、このことを踏まえて、推進部署と協議した結果、修正を行いました。

No.13, 素案は18ページになりますが、「下段の「身近な消防啓発の充実」の整理番号1-1-⑳の指標で普通救命講習会参加者数において目標値が現況値を下回っていますが、計画として現況を下回る目標を掲げる必要があるか、削除するか掲載するなら、注記で理由を述べるかした方がいいと思います。」というご意見です。先ほどと同様のご意見でございますが、同様に修正をしたところです。

最後にNo.14, 素案は31ページ目ですが、「【課題】の前半部分で示されている「地域学校協働活動」は、設置するものではないと思うので、書き換えをご検討ください。」とのことでしたので、こちらも修正を行いました。

続いて、「④第3期八千代市生涯学習推進計画（原案）について」についてご説明いたします。それでは資料5「第3期八千代市生涯学習推進計画（原案）」をご覧ください。

会議冒頭にお話させていただきましたが、この原案は審議会委員の皆様からのご意見、パブリックコメントのご意見、生涯学習推進本部幹事会からのご意見を踏まえて素案を修正したもので

ございます。修正した箇所については、赤文字に黄色の枠を塗ったところでございます。

それでは資料5を1枚めくっていただいて「はじめに」というところからご説明いたします。こちらは「生涯学習とは何か、何を目的に計画を策定するのかを記載すべき」というご意見がございましたので、そのことについて新たに追記をさせていただきました。

続いて3ページをご覧ください。「(3)本市の取り組みについて」ということで、これまで具体的にどのようなこと行ってきたのかを提示するため、主なものになりますが、第1期基本構想期間中に行ったものと第2期基本構想期間中に行ったものを追記いたしました。

4ページをご覧ください。「持続可能な開発目標（SDGs）への取組」ということで、こちらについてのご質問・ご意見がありました。が、「推進」から「取組」に書き換えました。上位計画である総合計画も「SDGsへの取組」を掲載しておりますので、そちらとの整合を図るという意味合いで直しております。また、当初は「17の目標」という表記を使っておりましたが、こちらにも総合計画に合わせる形で「17のゴール」と表記を変えさせていただきます。

次に5ページ「1基本理念」ですが、推進本部の幹事会からご意見がありました通り、「【第5次総合計画における生涯学習の将来のまちの姿】市民のニーズに対応した学習機会の提供や生涯学習環境の整備により、多くの市民が様々な学習活動に参加するまち」を追記しております。

次に6ページをご覧ください。1行目のところになりますが、当初は「基本理念を達成」という表記でしたが、「基本理念を達成」よりは「基本理念を実現」という表記の方が適切と考えまして「基本理念を実現するとともに」としております。下段は先ほど椎名委員からのご意見を踏まえて修正したところになっております。

次に7ページ、PDCAについてです。「サイクルがわかりやすい図を入れたほうがいいのか」という意見をもとに、新たに図を追記しております。

続いて8ページになります。【現状】の市民意識調査のところですが、生涯学習文化活動の「学習」という文言を追記しております。

9ページ以降ですが、「具体的な取組の概要」などを記載しておりますが、イメージしづらいというご意見がありましたので、代表的な実施する講座例や事業例を追記しております。また、推進部署の表記についても市民の方が分かりやすいようにということで、「公民館」「図書館」「総合生涯学習プラザ」などという表記に変えております。

続いて14ページをご覧ください。下段の「伝統文化・伝承文化の継承促進」の目標値についてパブリックコメントや推進本部幹事会からご意見がございましたが、こちらは現況値よりも増やした数値、直近の中で一番多くの参加人数であった「3,600人」と表記を変えております。

15ページ「郷土博物館主催事業の充実」の「講座参加者数」について、これも当初は新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえて低い数値にしておりましたが、こちらも見直しいたしました。

その下の「博学連携の推進」の目標値については、当初学校数を入れておりましたが、阿蘇の統廃合を踏まえて「市立小中学校全校」という表記に直しました。

続いて18ページをご覧ください。「健康づくり学習事業の実施・支援」の指標の「(1)健康づくりに関する講座・講演会の参加者数」の現況値が715人に対して720人となっており、かなり少ない人数の増加になっておりますので、こちらにも推進部署に確認しまして、新型コロナウイルスの影響があるということで「※新型コロナウイルス感染症の影響等を考慮し設定」という

表記を追加することで、数値を設定した理由を分かるようにいたしました。

同様に20ページ「身近な消防啓発の充実」の「普通救命講習会参加者数」も現況値に対してかなり少ない数値になっておりますが、そのことについて消防に確認したところ、消防は消防で個別の計画を作っておりまして、その計画の中で令和6年度末の目標値を定めるに当たり、新型コロナウイルスを踏まえたそうで、向こうの計画でそのように位置付けている以上変えられないとのことでしたので、そのことを注記しているところでございます。

最後に修正ではございませんが、44ページをご覧ください。「第4章資料」として、原案では未掲載になりますが、計画策定後に、生涯学習に関するアンケートや市民満足度調査などの各種調査結果、八千代市生涯学習審議会条例、八千代市生涯学習審議会委員名簿などを掲載する予定になっております。

以上で議題（1）②～④までまとめて説明をさせていただきましたが、ここまでの説明についてご質問等ございますか。

よろしいでしょうか。

それでは議題「（1）第3期八千代市生涯学習推進計画（原案）」については以上となります。

#### 【小出会長】

続いて、議題「（2）答申案について」に移ります。事務局、説明をお願いします。

#### 【事務局（生涯学習振興課 松本副主幹）】

それでは引き続き私から議題「（2）答申案」についてご説明申し上げます。

先ほど議題（1）において、第3期八千代市生涯学習推進計画（原案）について説明をさせていただきましたところですが、原案に対する答申を求めるものでございます。

答申についてご意見ある方はいらっしゃいますでしょうか。

#### 【佐藤 知行委員】

はい。

#### 【事務局（生涯学習振興課 松本副主幹）】

佐藤委員、お願いいたします。

#### 【佐藤委員】

ただ今ご説明いただきましたが、八千代市の生涯学習推進計画（原案）につきましましては、八千代市の生涯学習に関する現状と課題をしっかりと踏まえた上で、基本理念の実現及び基本目標の達成に向けた基本方針や具体的な取り組みがしっかりと分かりやすく明示されておりましたので、概ね適切なものであると考えます。

なお、この計画の推進に当たって、以下4点ほどお願い申し上げますが、ご配慮いただければと思います。



一つ目でございます。P D C Aサイクルについてご説明がありましたけれども、P D C Aサイクルの視点に立ちまして、適切な進行管理を行うとともに、具体的な取組や目標値などを示した毎年度版の計画書を作成していただきたいということでございます。

二つ目ですけれども、持続可能な開発目標（SDG s）の理念を踏まえ、市民一人ひとりが生涯にわたって学ぶことができるような施策を積極的に展開するように図っていただきたいということ。

それから三つ目になりますけれども、社会教育を基盤とした「人づくり」「つながりづくり」「地域づくり」の好循環創出を目指していただきたいということ。

最後になりますが、当審議会の審議過程において、各委員からございました質問、或いは意見・要望を計画実施時には十分考慮した上で、生涯学習の推進に努めていただきたいということ。

以上、4点申し上げましたが、よろしくお願い申し上げます。

以上です。

#### 【事務局（生涯学習振興課 松本副主幹）】

ありがとうございました。

ただいま、佐藤委員から答申について4つご意見をいただきましたが、その他答申について皆さんご意見等又は追加すべき事項などはございますでしょうか。

よろしいですか。

それでは、佐藤委員から出されましたご意見についてこれから事務局で答申案というかたちで、取りまとめを行いたいと思いますので、10分程度お時間いただきたいのですが、議長よろしいでしょうか。

#### 【小出会長】

ただいま事務局からお話がありましたが、答申案の取りまとめにお時間をちょうだいしたいと思います。約10分間休会し、11時15分から再開させていただきます。よろしくお願い致します。

〔10分間休会〕

#### 【小出会長】

それでは審議会を再開いたします。事務局から説明をお願いします。

#### 【事務局（生涯学習振興課 松本副主幹）】

それでは、先ほど佐藤委員から出されました意見を踏まえて、答申案を作成しました。皆様の机に配付をさせていただいておりますので、ご覧ください。

こちら読み上げます。

『第3期八千代市生涯学習推進計画（原案）に対する答申（案）』

本計画（原案）は、八千代市の生涯学習に関する現状と課題などを踏まえた上で、基本理念の実現及び基本目標の達成に向けた、基本方針と具体的な取組が明示されており、概ね適切なものとする。

計画の推進に当たっては、以下の4点に配慮されたい。

- 1 P D C Aサイクルの視点に立ち、適切な進行管理を行うとともに具体的な取組や目標値などを示した毎年度版の計画書を作成すること。
- 2 持続可能な開発目標（SDGs）の理念を踏まえ、市民一人ひとりが生涯にわたり学ぶことができる施策の積極的な展開を図っていくこと。
- 3 社会教育を基盤とした、「人づくり」「つながりづくり」「地域づくり」の好循環創出を目指すこと。
- 4 その他、当審議会の審議過程において、各委員から述べられた意見・要望について、計画実施時に十分考慮した上で、生涯学習の推進に努めること。」

以上となります。よろしいでしょうか。

#### 【小出会長】

それでは議題「(2) 答申案について」はただ今事務局が取りまとめた内容でよろしいでしょうか。

#### 【委員一同】

（異議なし）

#### 【小出会長】

それでは、「第3期生涯学習推進計画（原案）」への答申を私から審議会を代表して細かい文言の修正等を行った上で近日中に行ってまいります。

委員の皆様におかれましては、貴重なご意見並びに慎重なご審議を賜り誠にありがとうございました。

第3期生涯学習推進計画が実行性のある計画となり、本市の生涯学習の推進につながることを切に願います。

続いて次第4「その他」に移ります。事務局から説明をお願いします。

#### 【事務局（生涯学習振興課 松本副主幹）】

それでは次第4「その他」として、第3期生涯学習推進計画策定までのスケジュールについてご説明いたします。資料6をご覧ください。

本日、令和3年3月3日に第3回生涯学習審議会が開催されましたが、それより上の行に計画を策定するに当たって行ってきた内容と日付が記載してあります。

そして、この審議会が終了した後の流れになりますが、先ほど小出会長がおっしゃった通り、第3期生涯学習推進計画（原案）への八千代市生涯学習審議会の正式な答申を近日中に受理しま

す。その答申を踏まえて、令和3年3月13日に八千代市生涯学習推進本部会議にて計画策定の最終調整を行います。そして、令和3年3月下旬、今年度中に第3期八千代市生涯学習推進計画の策定を完了させる予定です。

スケジュールの説明については以上となります。ご質問等がございますでしょうか。

そのほか、全体を通してご質問等ございますか。

**【委員一同】**

(意見なし)

**【事務局（生涯学習振興課 松本副主幹）】**

無いようでしたら、次第4「その他」については以上となります。

**【小出会長】**

それでは、以上をもちまして、令和2年度第3回八千代市生涯学習審議会を終了いたします。

長時間にわたりご審議いただき、ありがとうございました。